

平成 29 年 9 月 24 日 12 : 50 ~ 18 : 00 に、北九州市立自然史歴史博物館において、シンポジウム「ヒト、カブトガニ、干潟 ～海はだれのものか?～」が開催されました。

103 名の方が参加され、福岡県、山口県、広島県のカブトガニの生息現状、カブトガニをめぐる干潟や瀬戸内海的环境政策、世界の干潟でなにが起こっているか、など多角的な講演が 8 名の講演者から寄せられ、活発な議論が展開されました。カブトガニは良好な干潟、藻場が存在するということの指標種であるということが多くの方の共通認識でした。難しい問題も存在しますが、自然を守るための行動を 1 つ 1 つ起こしていきたいと思っています。

1. 会場風景 (いのちのたび博物館の皆さまご協力の元、多くの一般の方にも参加して頂きました)



2. 総合討論 (会場から様々な意見・質問が寄せられました)



3. 打ち上げにて

